

令和８年度 第２回横浜市うらしま荘指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和８年８月１２日（水）１３時００分～１５時３０分
開催場所	神奈川区役所本館４階第１会議室
出席者	柳澤委員長、井上委員、唐澤委員、小林委員、平井委員（計５名）
欠席者	なし
開催形態	応募団体の面接審査は公開とするが、指定候補者の選定審議については非公開とする。 （傍聴者なし）
議 題	１ 面接審査 ２ 指定候補者選定審議
審議結果	１ 面接審査（２団体） （１）特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ （２）エフィラグループ株式会社 面接審査は、団体名を伏せた状態（ブラインド化）で実施した。 ２ 指定候補者選定審議 委員の評点（平均点）は下記のとおりとなった。また、いずれの団体も指定候補者または次点候補者となるための、選定委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計の６割以上）を満たすことを確認した。 両団体の評点を踏まえた審議の結果、老人福祉センター横浜市うらしま荘第５期指定管理者の候補者及び次点候補者を選定した。 （１）特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ 評点 78.80 点（合計点数 394 点） 指定候補者として選定 （２）エフィラグループ株式会社 評点 65.40 点（合計点数 327 点） 次点候補者として選定
委員意見等	１ 面接審査質疑応答 （１）特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ （委員）地区センターとのすみ分けはどのように考えているか。 （団体）対象者が 60 歳以上ということから、相談機能を中心とした運営により地区センターとの差別化を図る。また、自主事業は収益追求を目的とせず、利用促進や広報の観点から実施している。 （委員）利用者の属性や今後の課題は。 （団体）現在の利用者は 70～80 代が中心で、個人利用ではテレビやカラオケ、囲碁・将棋などの利用が多い。今後は 60 代の利用者をどのように取り込んでいくかが課題と考えている。 （委員）収支計画書において修繕費を増額した理由は。 （団体）指定管理者の費用負担上限額の変更に伴い、修繕費の予算額を増額した。 （２）エフィラグループ株式会社 （委員）福祉事業者として地域コミュニティ分野へ参入する理由は。

	(団体) 地域のハブとなることを目指し、誰もが利用できる公共施設として運営したいと考えている。また、事業活動を通じて地域課題の解決や社会貢献につなげたい。 (委員) ケアプラザとの差別化やデジタル化についてどのように考えているか。 (団体) 児童から高齢者まで幅広い世代に関わる事業実績を活かし、多世代交流を強みとした施設運営を行う。また、既存利用者への配慮からアナログ手法を残しつつ、SNS 等を活用して若い高齢者層への周知や利用促進を図る。 (委員) 人員配置や職員処遇についてどのように考えているか。 (団体) 地域住民の考え方とグループの理念の共有を図りながら運営を進めるとともに、現在の水準を尊重しつつ、段階的に評価制度等の統一を図る。 2 指定候補者選定審議 (1) 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ 現指定管理者としての運営経験を活かし、地域利用者のニーズを踏まえた事業計画や講座内容、緊急時対応などについて具体的で分かりやすい提案がなされている点が高く評価された。収支改善に向けた取組が求められるものの、財務状況や運営実績等を総合的に勘案すると、安定的な施設運営を継続する能力は有していると認められる。 (2) エフィラグループ株式会社 財務基盤の安定性や自主企画の斬新さ、大規模団体としてのスケールメリットに期待する意見があった。一方で、うらしま荘の特性や地域資源を活かした提案が十分に見えず、施設に着目した独自性が感じられないとの指摘があった。また、法人の理念は理解できるものの、施設運営体制や配置する人材等について具体的な説明が不足しており、施設運営の方向性が分かりにくいとの意見があった。
--	--